

研究又は活動のテーマ	ICT建設機械に関する施設見学および体験学習
団体名	山梨県立甲府工業高等学校土木科
代表者	大木 香織
<p>(目的)</p> <p>近年、建設業界ではICTを活用するi-Constructionに関する知識と技術を学ばせたいと考えており、そこで、スマートコンストラクションの普及にいち早く取り組んでいるコマツIoTセンター東京への見学を行い、本校生徒に最先端の知識や技術を学ばせられる施設である。スマートコンストラクションの概要説明やデモンストレーション、ICT建設機械の試乗など、未来の土木技術に特化した学習ができる。創造性のある説明をしてくれるので、生徒にも分かりやすく魅力的な内容である。</p> <p>特にコンピューターに強い若い世代が建設産業で活躍してもらうためにも、先進的なICT施工の仕組みを学び、生徒の探求心や進路に対する意識の向上を目的としている。</p>	
<p>(概要)</p> <p>土木科1年を対象に、千葉県千葉市美浜区に所在するコマツIoTセンター東京への施設見学および体験学習会を実施した。説明員1名と技術員4名が出迎えてくれ、以下のような時程で座学と体験を行った。本来は建機の採用企業に向けての施設のため、高度な専門的説明もあり、生徒には全てを理解することは難しかったが、イメージしやすい画像と動画も織り込まれていたため生徒も概要を把握できた。今後の建設業の中にICT施工やICT建機が必要不可欠であると実感を持たせられた。</p> <p>12:00 開式 12:05 会社説明・i-Constructionの概要説明 12:25 デモンストレーション 12:50 建機試乗 14:30 質疑応答 15:00 閉式</p> <p>元来オペレーターは経験を積んで技能を身に付けていくが、育成には時間が必要である。国土交通省が進めるi-Constructionは若年層や未経験者の建設業界参入の敷居を下げ、より建設業界が魅力的に映るような効果を狙っているように思われる。今回の施設見学および体験学習によりイメージが軟化し、こういう働き方があるのかと感想を綴っていた。</p>	